

K-19 (2002)

K-19: THE WIDOWMAKER

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス アクション

製作国 アメリカ/イギリス/ドイツ

色彩 Color

時間 138分

初公開日 2002/12/14

公開情報 日本ヘラルド映画

【キャッチコピー】

NO MORE PANIC !

世界はまだ知らない。

世界なんか、一瞬で終わる。

【解説】

ソ連の原子力潜水艦K-19で1961年に実際に起った放射能事故を基に、「ブルースチール」「ハートブルー」のキャスリン・ビッグローが映画化した骨太のサスペンス。米ソによる核戦争に発展しかねない原潜事故という最悪のトラブルに命懸けで立ち向かう乗組員たちの姿を緊張感たっぷりに描く。主演は「エアフォース・ワン」のハリソン・フォード。

1961年、米ソ冷戦の最中、ソ連国家首脳部は原子力潜水艦K-19の処女航海の艦長にアレクセイ・ボストリコフを任命した。副艦長には経験豊富なミハイル・ポレーニンが就き艦は出航。この2人の意見はしばしば対立するが、K-19は次々にテストを成功させていった。困難なテストを乗り越り乗組員たちは束の間リラックスする。しかしその直後、新たな任務の遂行中、艦内の冷却装置のひび割れが判明する。原子炉は過熱し始め、このままでは炉心の溶融が避けられない。ボストリコフはじめ乗組員は、大惨事をくい止めるべくひとつの決断を下すのだった。

【クレジット】

監督	キャスリン・ビッグロー	Kathryn Bigelow	
製作	キャスリン・ビッグロー	Kathryn Bigelow	
	エドワード・S・フェルドマン	Edward S. Feldman	
	シガージョン・サイヴァッツォン		
	ナイジェル・シンクレア	Nigel Sinclair	
	クリス・ウィッターカー	Chris Whitaker	
製作総指揮	モリッツ・ボーマン	Moritz Borman	
	ガイ・イースト	Guy East	
	ハリソン・フォード	Harrison Ford	
原案	ルイス・ノーラ	Louis Nowra	
脚本	クリストファー・カイル	Christopher Kyle	
撮影	ジェフ・クロウネンウェス	Jeff Cronenweth	
音楽	クラウス・バデルト	Klaus Badelt	
出演	ハリソン・フォード	Harrison Ford	アレクセイ・ボストリコフ艦長
	リアム・ニーソン	Liam Neeson	ミハイル・ポレーニン副長
	ピーター・サースガード	Peter Sarsgaard	原子炉担当士官ヴァディム

クリスチャン・カマルゴ	Christian Camargo	原子炉担当官パベル
ピーター・ステッピングス	Peter Stebbings	
ジョス・アックランド	Joss Ackland	
ドナルド・サンプター	Donald Sumpter	
マイケル・グラディス	Michael Gladis	
ジョージ・アントン	George Anton	
スティーヴ・ニコルソン	Steve Nicolson	
ジョン・シュラプネル	John Shrapnel	